



えがお！松本だより

自ら、そして仲間と、
未来をたくましく生きる力を身につける子

福井市松本小学校 学校だより
令和7年3月3日 第15号
TEL 22-8813 FAX 22-8892
Mail matsu-e@fukui-city.ed.jp

『感謝の気持ちを伝えよう』を、「相手を大切にして関わる力」に

松本小では、様々な活動を通して5つの力をつける取組が行われています。2月の生活目標は「感謝の気持ちを伝えよう」でした。本校の生徒指導部(来年度から「児童支援部」と名前を変え、気持ちも新たに取り組んでいきます!)からは、「子どもに、どんな人とのどのような関わりに気づかせたいか、具体的な場面で考えてみる場面をもと」「感謝の気持ちをどのように表すか、学級で考え実践しよう」などの提案がなされました。

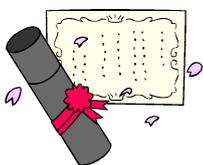
各クラスでは、特に意識したいことを話し合っって考え、取り組みました。学校全体としては「6年生を送る会」と「ありがとう集会」を企画し、これまでお世話になった人に感謝の気持ちを伝える機会としました。

6年生を送る会。1年生からは歌と手作りのお花が渡され、2年生は6年生と一緒に玉入れやダンスで楽しみました。この1年、縦割り活動で関わり続けてくれた6年生の顔を、忘れることなどありません。1年生はまっすぐに、お世話になったお兄さんお姉さんのところに行って、お花を渡しました。2年生とのダンス、6年生は2年生との時を十分に楽しんでいました。背が大きくなった6年生の玉入れは、迫力があり、見応え十分でしたね。

3年生は、ランドセルを使って6年生に感謝の呼びかけをしました。最初、「あのランドセルは何に使うのだろう」とみんな思っていたと思いますが、そのしかけて会場が楽しい雰囲気になりました。4年生は歌のプレゼント。力強い足音とともに、6年生の卒業を優しく後押ししてくれたかのようでした。

そして5年生。当日まで、リーダーとしての初仕事を本当によくがんばってくれました。第1部では、縦割り班ごとにゲームをしたりメッセージカードを渡したりして過ごしましたが、進行や小さい子への声かけなど、一生懸命にやっている姿が本当に素晴らしかったです。そして、その姿を温かく見守っていた6年生の姿も印象的でした。6年生からプラカードの引き継ぎが行われ、これより5年生がリーダーとなって学校をリードしていきます。そういった、節目の会ともなりました。

最後に6年生。これまでみなさんが、学校の、縦割り活動のリーダーとして見せ続けてくれた姿が、次のリーダーをはじめとする松本っ子にしっかりと受け継がれていきます。これから「世界に一つだけの笑顔で、輝く未来へ」と突き進んでいってほしい。みんなですう願っています。

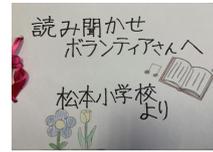




ありがとう集会。日頃よりお世話になっている見守り隊、見守りボランティア、図書ボランティア、施設技師さん、給食配膳員さんをお招きして、感謝の気持ちを伝える時間としました。コロナ以降、数年ぶりの開催でもありました。松本っ子からは感謝のお手紙、そして歌のプレゼントをしました。皆さん、本当に喜んでくださいました。

私からは「こうやって、子どもたちが感謝の気持ちをもつことが、『校舎を大切にしよう』『交通安全に気をつけて登下校しよう』『図書の本に親しもう』『給食に感謝して食べよう』という、松本っ子の気持ちを育みます。なくてはならない存在の皆さんです。本当にありがとうございます」と、感謝の思いを伝えました。

今後も、このような活動を通して、松本小ではつけない5つの力をつける取組を行い、「自ら、そして仲間と、未来をたくましく生きる子」を育てていきたいです。



実は私も子どもから感謝の気持ちをいただきました。校長室に大事に飾ってあります。ありがとう…



今、松本小職員室では、来年度に向けて話し合いを進めています…

学校では毎年、年度末になると、1年間の振り返りを行い、成果と課題を明らかにします。そこから、次年度に向けての取組を話し合って決めていきます。

①個人での省察 「令和6年度末学校評価」でこの1年をじっくりと振り返り、書く

どの職員も1年を振り返って、自分事として意見を書いていました。来年度に向けての意見がたくさん出ていました。まずは次年度の個人ビジョンを描き始め、そこから共有のビジョンを目指していくのだと思っています。

②校内コミュニティでの省察1 「学校評価委員会」で、意見を語り合う

1月初旬、管理職と教務主任、研究部主任と生徒指導主事が集まり、職員から出された意見をじっくりと読む時間を複数回取りました。たくさんの意見を内容ごとにまとめ、次の職員話し合いが進むように努めました。

③校内コミュニティでの省察2 「学校評価各部会」で、意見を語り合う

1月27日、31日の計2回、研究部会と生徒指導部会それぞれで集まり、個人での省察を元に意見を出し合いました。本校ミドルリーダーが中心となり、十分な話し合いをもちました。

④校内コミュニティでの省察3 「学校評価全体会」で、「進化を前提とした設計作り」

2月5日、12日、19日の計3回、いよいよ全職員が参加しての全体会をもちました。多様な視点から多くのことに気づく・学ぶ機会となり、「幸せな学校」を目指す語り合いができていたと感じました。ある職員は「我々教員が、目の前の課題を自分事としてとらえ、気づき、考え、話し合って実行していく、とても有意義な会議になりました。これは松本っ子に求めていることと同じですね」と話していました。ある教員は「全体会で話題に上がったように、大きなねらい(学校教育目標)を達成するための活動を、この先何度も繰り返していく必要性を感じています」と語りました。そのことを私たちが改めて確認する全体会ともなりました。

この後、2月21日の職員会議を経て、さらなる省察を重ねながら、来る令和7年度に向けて歩み始めることとなります。職員室の一人一人が松本小の共有ビジョンに関わり、理解し、互いに影響を及ぼし合い、尊敬し合い、励まし合って、ともに未来創造に向かう「チーム」としての歩みを進めていきたいと思っています。

